

2019年9月30日
株式会社梓設計
ソフトバンク株式会社
株式会社ウフル

梓設計、ソフトバンクとウフルとの連携により 革新的なワークプレイスの実現に向けた実証実験を実施

～梓設計の本社で環境データや人の感情に関するデータを収集して分析・活用～



<各種データ収集のイメージ図>

■革新的なワークプレイスの実現に向けた実証実験の実施

株式会社梓設計（本社：東京都品川区、代表取締役社長：杉谷 文彦、以下「梓設計」）は、ソフトバンク株式会社（本社：東京都港区、代表取締役 社長執行役員 兼 CEO：宮内 謙、以下「ソフトバンク」）および株式会社ウフル（本社：東京都港区、代表取締役社長 CEO：園田 崇、以下「ウフル」）と連携して、働く人のパフォーマンスを最大化させる革新的なワークプレイスの実現に向けた実証実験を、梓設計の本社で2019年9月30日から2020年7月末まで実施します。

■実証実験の概要

働く人のパフォーマンスを最大化させる環境の条件や指標を研究することを目的に、温湿度や照度、騒音、におい（総揮発性有機化合物濃度）、気圧などの環境データを取得できるセンサーや、会議室の利用状況を確認できる人感センサーを梓設計の本社に設置し、データの有用性を検証します。また、会議室内にカメラやマイクを設置して映像および音声データを収集する他、メガネや腕時計型のウェアラブル機器を梓設計の一部の社員が身につけて、感情や集中度合い、心拍数に関するデータを収集し、環境センサーから収集するデータとの相関性を分析します。

■分析データの多用途への活用

梓設計は、この分析結果を基に、人のパフォーマンスを最大化させる環境の指標を策定し、その指標に応じた環境の自動制御を実現するソリューションの開発に取り組みます。なお、今回の実証実験の結果は、オフィスだけではなく、空港やスポーツ施設、ヘルスケア施設など様々な用途にも活用していく予定です。

■梓設計による将来的な取り組み

梓設計は、創造性や生産性の向上に加えて、働く人が心身ともに健康な状態である well-being（ウェルビーイング）を実現するワークプレイスを構築することを目的に、建物の3次元のデジタルモデルに、その建物の施設を構成する設備・機器などの製品情報や、位置、数量、価格などの様々な情報を掛け合わせたプラットフォームである BIM（Building Information Modeling）と、今回の実証実験で収集する各種データを連携させて、より高度な分析を行う予定です。また、WELL Building Standard（WELL 認証）*などの評価指標に即したデータの自動収集も視野に入れて、人のパフォーマンスを最大化させるワークプレイスの実現を推進します。*空間のデザインや構築、運用に、人の健康という視点を加え、より良い居住環境の創造を目指した評価指標のこと。

■実証実験における各社の主な役割

梓設計	実証実験の実施主体、収集したデータの分析、環境の自動制御アルゴリズムの開発
ソフトバンク	データ収集のための通信環境やクラウド環境の提供、腕時計型ウェアラブル機器の提供、収集したデータの分析、全体のサポート
ウフル	各種センサーなどの調達、システム設計・構築、収集したデータの可視化や最適な活用を支援するサービス「 enebular（エネブラー） 」の提供、収集したデータの分析

■株式会社梓設計について (<https://www.azusasekai.co.jp/>)

1946年創立の所員数六百名を超える国内有数の大手組織設計事務所。ターミナルビル、格納庫など空港分野はトップシェアを持ち、羽田、成田、関空、福岡、新千歳、那覇、中部はじめ多くの地方空港も手掛けています。また、現在では新国立競技場整備事業にも携わり、スポーツ分野でも長らくトップシェア。その他、庁舎、学校などの公共施設をはじめ、ヘルスケア、都市開発、物流、生産の各分野でも多くの実績を持っています。今年8月に本社を羽田の物流倉庫に統合移転。羽田空港や運河を直下に望む、階高6.6m、100m×60mのメガプレートに、緑溢れる明るく開放的なオフィスを実現。多様なワークスペースを備え、完全フリーアドレスを実施。この新しいオフィスを実験場としイノベーションを生むオフィスのかたちとは何か、追求していきます。

■ソフトバンク株式会社について (<https://www.softbank.jp/corp/>)

ソフトバンク株式会社（東証一部：9434）は、「情報革命で人々を幸せに」というソフトバンクグループの経営理念の下、ライフスタイルやワークスタイルに変革をもたらす、さまざまな通信サービスやソリューションを提供しています。スマートフォンを中心とした魅力的なサービスや5Gネットワークで通信事業を強化するとともに、AIやIoT、ビッグデータなどの活用や、グローバルに事業を展開するグループのテクノロジー企業群とのコラボレーションにより、革新的な新規事業を創出し、さらなる事業成長を目指しています。

■株式会社ウフルについて (<https://uhuru.co.jp/>)

株式会社ウフルはIoT事業を核とし、エッジとクラウドをつなぐIoTオーケストレーションサービス「enebular」を用いて、IoT領域で顧客のビジネスに変革をもたらす続けています。来る5Gの普及に向け、NB-IoTなどの通信技術にも取り組んでいます。コンサルタント、エンジニアやクリエイターといった多彩な人材から成るチームにより、IoT事業を実現するために必要なプロフェッショナルサービスと、事業戦略・技術戦略・コミュニケーション戦略の支援などをワンストップで提供し、お客さまのビジネス創造に努めてまいります。

- SoftBank およびソフトバンクの名称、ロゴは、日本国およびその他の国におけるソフトバンクグループ株式会社の登録商標または商標です。
- その他、このプレスリリースに記載されている会社名および製品・サービス名は、各社の登録商標または商標です。